

「延世大学校スプリングスクールプログラム参加報告書」

京都大学工学部1回生 加藤諒士

① 学習成果

僕がこのプログラムに参加して感じたことは、世界の共通言語である英語の重要性です。今回は韓国語を学びに行ったのに、こんなことを感じるのは変に思われるかもしれませんが、この三週間を通じて強く感じたことです。延世大学の語学堂には、世界中から韓国語を学びたい人が集まっていました。僕のクラスには、ロシア、オーストラリア、フランス、ドイツなど本当に様々な国から人が集まっていて、全員が英語でコミュニケーションをとっていました。お互いが分からない部分を教え合う時も、役立つのは英語でした。そんな中に、僕は京大生として参加して、まともにコミュニケーションがとれないことに恥ずかしさを感じてしまいました。韓国のトップクラスの大学にいる学生も、ほとんどが英語でコミュニケーションをとることができます。でも、周りの京大生を見てもそうは思いません。これからは、もっと使える英語を学んで行かなければならないと感じました。

② 海外での経験

今回のプログラムでも、色々な方との出会いがありました。延世大学のバディさんやその友人、発表の後の討論会で会った方など、様々な方とお会いして、様々なお話をしました。それぞれの方が、世界のことに対して色々な考えを持っていて、自分ももっと世界に向けての関心を持って行かなければならないのだと感じました。これからも、世界中の方々との出会いを大切に、多くのことを学んで行けたらとおもいます。

③ プログラム内容

今回のプログラムの内容は、基本的に平日の午前中が語学堂での学習、たまに午後に文化体験があり、それ以外は自由時間となっていました。語学堂での学習は9時から13時の4時間で、内容は、読み書き、リスニング、会話などをバランスよく学ぶもので、日本の英語教育とは全く異なり、本当の意味で韓国語を習得できるようなシステムになっていました。文化体験は、テコンドー体験、料理体験、ソウルシティツアーなどでした。

④ 進路への影響について

今回のプログラムで、自分のやりたいことがはっきりしました。まずは英語学習です。英語がなければ社会では使い物になりません。英語が使えるだけで、社会に出たときに選択肢が広がって行きます。あとは、韓国の大学への一年の留学にすごく前向きになりました。もし、自分に韓国への一年の留学をするチャンスがあったら、ぜひとも参加して、韓国語の学習をしたり、世界に対してもっと視野を広げて行けたらと思っています。

삼주 감사합니다. 한국에서는 다양한 사람과 만날 수 있고 다양한 이야기를 다양한 경험을 할 수 있었습니다. 이 경험을 살려 자신의 성장에 바꾸고 싶 있습니다. 또한 기회가된다면 한국에 가서 여러가지를 배우고 싶습니다. 지금까지 정말 감사했습니다.